

わたしの避難計画(マイ・タイムライン)使用時の注意点

台風や大雨は自然現象であり、この計画があれば常に安全ということではなく、この計画で想定したとおりに進行するとは限りません
この計画を作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「いつ」が明確になりますが、注意点もあります

実際に使用する際には、次のことをふまえて行動してください

- 1 あくまで行動の目安として認識する
- 2 気象情報や避難情報などをこまめに収集・確認する
- 3 収集・確認した情報をもとに、わたしの避難計画を参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する

避難をすることを考える

- 水害や土砂災害から命を守るためには、事前の準備をしっかりと行い、落ち着いて避難することが大切です
- 避難の際に持っていくものは現金や常用薬など必要最低限のものとしましょう(一時的な避難になりそうなときは、飲食料の提供がないこともあるので、必要最低限の用意を検討する必要があります)
- ただし、大河川の洪水や高潮による氾濫発生のおそれがある場合などは、避難が長時間に及ぶ可能性があります。長時間の避難を想定した持出品を考えましょう(動きにくくなるほどの重さにならないように注意しましょう)

わたしの避難計画

“いざ”という時のために。
五泉市マイ・タイムライン



(マイ・タイムライン)をつくらう

わたしの避難計画(マイ・タイムライン)とは?

マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近した際の自分自身の避難行動をあらかじめ具体的に確認し、いざという時のために作成しておくものです



一人ひとりで、家族で、地域で、それぞれのマイ・タイムラインをつくってみましょう
しっかり準備を進めて、風水害などから身を守りましょう

計画をつくるために必要な2つのポイント

ポイント1

ハザードマップを
確認する

自分の身に起こりやすい災害のリスクがわかると、必要な情報や準備がなにかがわかります(P2参照)

ポイント2

防災気象情報や
避難情報を確認する

風水害などから身を守るために必要な気象情報や避難情報を確認しましょう(P3参照)

ハザードマップを確認しましょう



五泉市災害ハザードマップ

ハザードマップとは、
被害が想定されるエリアや避難する場所などを
表示した地図のことです

市民の皆さんの安全な避難や危険回避の自主的な行動を支援するため、五泉市でも、平成30年3月に災害ハザードマップを作成しています
(R4.3月に一部改訂)

STEP 1

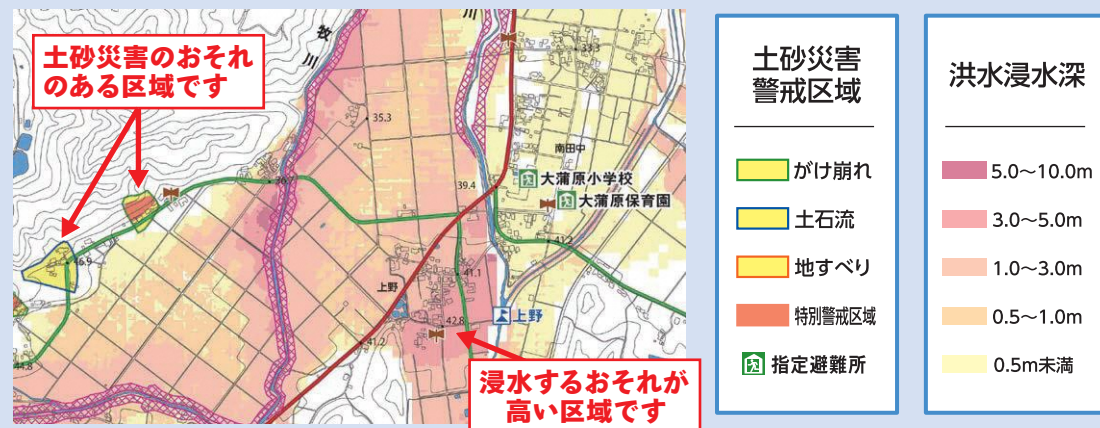
**自宅にハザードマップがあるか確認しましょう
ない場合は、市役所または市ホームページで
入手できます**



市ホームページ

STEP 2

ハザードマップで、自宅の位置を確認し、自分の住んでいる地域に起こりうる災害を把握しましょう



エリア毎に浸水する深さが示されています。例えば、浸水する深さが3.0mのエリアであれば、1階相当が水没、5.0mであれば2階相当が水没することが示されています。

STEP 3

ハザードマップで、近くの指定避難所(P5)を確認しましょう

※災害時には、指定避難所のうち、“基幹避難所”が優先的に開設されます

※洪水や土砂災害など災害の種別や規模によって避難所の開設の有無が変わるため、避難する際は、注意が必要です

ポイント2

避難情報や防災気象情報を確認する

- 避難に関する情報は、市から発令されます
- 水害・土砂災害について、市が出す避難情報と国や都道府県が出す防災気象情報を、直感的にわかるように5段階に整理しています
- 必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください

避難情報

発信者：市
名 称：警戒レベル

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報など
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
4	危険な場所から全員避難	避難指示
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報

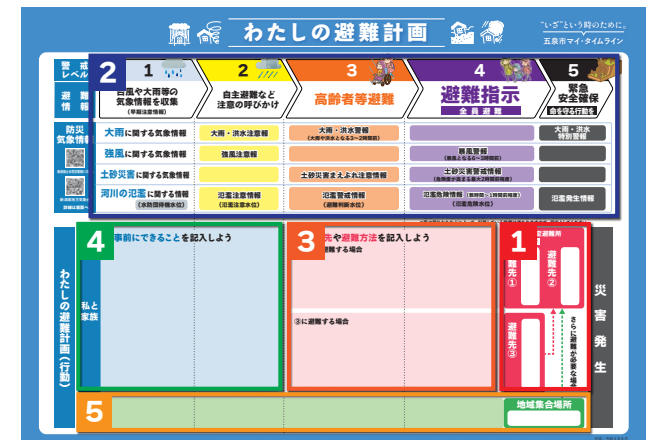
土砂災害の情報や河川水位など

発信者：気象庁や県など
名 称：警戒レベル相当情報

防災気象情報		
	浸水の情報	土砂災害の情報
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	土砂災害まえぶれ注意情報 大雨警報
2相当	氾濫注意情報	—
1相当	—	—

マイ・タイムラインの作り方

- 1 避難する場所を記入する
- 2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える
- 3 避難開始のタイミングを記入する
- 4 避難開始までの準備行動を記入する
- 5 地域に対しての行動を記入する



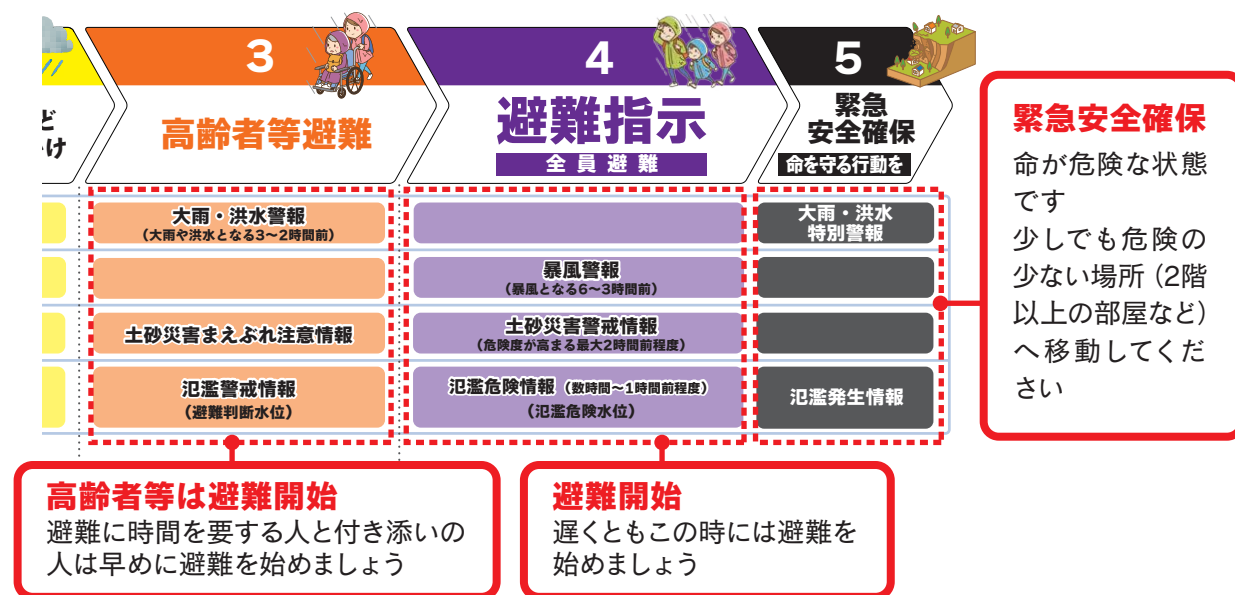
1 避難する場所を記入する

ハザードマップなどを確認し、避難する場所を決めて、シートに記入しましょう

- 災害の種類によって、避難する場所が変わることがあることに注意しましょう
- 避難先は、市が決めている「指定避難所」に避難することだけではなく、安全な親戚や知人の家、2階以上の部屋などに避難するのも有効です
- ハザードマップなどを見て、被害のおそれのある場所や低い場所などを避けて、できるだけ安全に移動できる避難ルートを決めましょう

2 避難情報や気象情報から避難のタイミングを考える

- 赤い線で囲まれた気象情報が発表された場合、市から、状況に合わせて避難情報が発令されます
※たとえ避難情報が発令されていなくても、気象情報が出たら、避難を検討してください
- 避難情報や気象情報をもとに、避難の準備や開始のタイミングを考えてみましょう



3 避難開始のタイミングを記入する

- ① **2** で考えた避難開始のタイミングを記入しましょう
※高齢者など早めの避難が必要な家族がいる場合は、早いタイミングで避難を開始しましょう
- ②避難先に安全に移動・到着するまでに必要な時間を記入しましょう

4 避難開始までの準備行動を記入する

避難開始までに何をすべきか考えましょう
 例えば、「避難経路の確認」や「常備薬を用意する」などの準備の内容とそれに必要な時間を記入しましょう

5 地域に対しての行動を記入する

地域の人々の助け合いについても、このマイ・タイムラインを通じて、地域でコミュニケーションを取りながら事前に考えておきましょう
 地域の人への避難の呼びかけなど地域での役割がある場合は、タイミングを記入しましょう

（参考）指定避難所一覧

基幹避難所

No	施設名	所在地	電話番号 (0250)	階数	洪水 (浸水深ランク)		土砂災害 (警戒区域)		地震
1	川東小学校	中川新 2431	42-3737	1F	○		○		○
2	橋田小学校	橋田 1016	41-0055	1F	○		○		○
3	五泉中学校	南本町 2-1-87	43-3036	1F	○		○		○
4	五泉北中学校 注 1)	三本木 2-7-1	43-0150	1F	○	0.5 ～ 1.0m	○		○
5	図書館	郷屋川 1-1-8	43-3110	3F	○	0.5m未満	○		○
6	村松体育館	石曽根 8074-1	58-6373	2F	○		○		○
7	さくらんどう会館	村松乙 118-2	58-1133	2F	○		○		○
8	大蒲原小学校	南田中 646-2	58-6306	1F	○		○		○
9	第一幼稚園	学校町 3-52	42-2601	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
10	さくら保育園	白山 2-35	42-2366	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
11	すみれこども園	駅前 2-6-19	42-2647	2F	○	0.5m未満	○		○
12	ひまわりこども園	荻曽根 187-1	42-3234	2F	△	1.0 ～ 3.0m	○		○
13	こばと保育園	太田 1-10-28	43-1051	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
14	あさひ保育園	猿和田 27	43-2837	2F	○		○		○
15	つくし保育園	木越乙 2863	42-2756	2F	○		○		○
16	すもと保育園	一本杉 306-2	43-3530	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
17	はしだ保育園	橋田 1422-1	43-1290	1F	○		－	土石流イエロー	○
18	かわひがし保育園	中川新 880-1	43-1602	1F	○		○		○
19	五泉小学校	学校町 3-14	43-3101	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
20	五泉南小学校	駅前 2-5-53	43-0345	2F	○	0.5m未満	○		○
21	五泉東小学校	赤海 3714	42-2674	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
22	巢本小学校	論瀬 47-1	42-4076	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
23	川東中学校	猿和田 181	42-3577	1F	○		○		○
24	総合会館	旭町 7-11	42-5194	3F	△	1.0 ～ 3.0m	○		○
25	栗島ふれあい館	栗島 851	43-1050	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
26	老人福祉センター翠泉園	横町 3-3-9	42-3414	2F	△	1.0 ～ 3.0m	○		○
27	馬下集落開発センター	馬下 1612	47-2862	1F	○		－	土石流イエロー	○
28	五泉高等学校	栗島 1-23	43-3314	3F	△	1.0 ～ 3.0m	○		○
29	村松高等学校	村松甲 5545	58-6003	3F	○		○		○
30	村松武道館	愛宕甲 2631-1	58-8129	1F	○		○		○
31	さくらんどう温泉	上木越甲 423-1	58-1611	1F	○		○		○
32	さくら学童クラブ・村松子育て支援センター	村松乙 75-7	58-7435	1F	－	1.0 ～ 3.0m	○		○
33	村松さくらこども園	村松甲 6288	58-2401	1F	○		○		○
34	川内保育園	川内 153-3	55-6104	1F	－	0.5 ～ 1.0m	○		○
35	大蒲原保育園	南田中甲 390	58-6919	1F	○		○		○
36	村松公民館	村松乙 130-1	58-5082	4F	○		○		○
37	戸倉コミュニティ会館 注 2)	上戸倉 1640	58-2939	1F	○		○		○
38	五箇スポーツ会館	笹野町甲 2117-2	58-1555	1F	－	1.0 ～ 3.0m	－	土石流イエロー	○
39	村松こども園	村松乙 118-3	58-6544	1F	○		○		○
40	村松小学校	城下 1-865	58-6050	1F	○		○		○
41	愛宕小学校	石曽根 8074-2	58-6302	1F	○		○		○
42	十全体育館	安出 156-1	42-5194	1F	○		○		○
43	川内体育館	川内 194	42-5194	1F	○	0.5m未満	○		○
44	村松桜中学校	愛宕甲 2705-1	58-6530	1F	○		○		○
45	山王体育館	村松甲 6441-14	42-5194	1F	○		－	がけ崩れイエロー	○
46	特別養護老人ホーム山王苑	村松 203-1	58-8989	3F	○		○		○

○**基幹避難所**は、速やかに開設できるよう、あらかじめ職員体制を整えている避難所です
 ※洪水や土砂災害など災害の種別や規模によって避難所の開設の有無が変わるため、避難する際は、注意が必要です

○避難所のうち「小学校」「中学校」「栗島ふれあい館」については、体育館を利用します
 注1)体育館床高1.2m>浸水深のため利用可とする
 注2)土砂災害警戒区域内であることに留意し利用する

○災害の種類（洪水・土砂災害・地震）によって、避難所として利用できない場合があるため、注意が必要です

災害別（洪水・土砂災害・地震）避難所利用可否
 ○:利用可能 △:2階以上利用可能 ー:利用注意(※)

(※) 災害の状況により、近隣の安全な避難所を利用



警戒
レベル
避難
情報

1

台風や大雨等の
気象情報を収集
(早期注意情報)

2

自主避難など
注意の呼びかけ

3

高齢者等避難

4

避難指示
全員避難

5

緊急
安全確保
命を守る行動を

防災
気象情報

新潟県土木防災情報システム

新潟県地方気象台
詳細は裏面へ

大雨に関する気象情報

強風に関する気象情報

土砂災害に関する気象情報

河川の氾濫に関する情報
(水防団待機水位)

大雨・洪水注意報

強風注意報

氾濫注意情報
(氾濫注意水位)

大雨・洪水警報
(大雨や洪水となる3～2時間前)

土砂災害まえばれ注意情報

氾濫警戒情報
(避難判断水位)

大雨・洪水特別警報

近隣の指定避難所を確認し、**基幹避難所**とその他の避難所から1箇所ずつ避難先を考えましょう

※洪水や土砂災害など災害の種別や規模によって避難所の開設の有無が変わるため、避難する際は注意が必要です

大雨・洪水特別警報

避難先

事前のできることを記入しよう

全ての避難準備にかかる時間を踏まえて、早めに取り掛かりましょう

全ての避難準備にかかる時間 (60)分

▶テレビなどで情報収集する (10)分

▶飛ばされそうな物の片付け (10)分

▶お母さんが家族に連絡 (10)分

▶お母さんが常備薬を準備 (10)分

▶お父さんが持出品を確認 (10)分

▶お父さんが避難経路を確認 (10)分

▶お母さんが近所へ避難の呼びかけ (10)分

▶お父さんが町内会へ役割分担を確認 (15)分

裏面の所持品チェックリストを参考に確認しましょう

私と家族

私の避難計画(行動)

地域

避難先や避難方法

①・②に避難する場合

(車) 避難開始 (お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん) 避難にかかる時間 (20)分 避難完了

(徒歩) 避難開始 (私、お母さん) 避難にかかる時間 (20)分 避難完了

③に避難する場合

(車) 避難開始 (家族全員) 避難にかかる時間 (30)分 避難完了

警戒レベル3で避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など)は早めの避難が必要です

警戒レベル4で全員避難

指定避難所

基幹避難所

避難先① ○○小学校

避難先② ○○保育園

避難先③ 親戚の家

さらに避難が必要な場合

地域集合場所 ○○公民館

災害発生

避難所だけでなく、安全な場所にある親戚や知人の家など、複数の避難先を確保しておきましょう

近所や友人と避難を呼びかけあうことが、避難行動に繋がります。地域で声を掛け合いましょう

地域で公民館など災害時に集合する場所が決まっている場合は、記入しましょう